

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#16



(上)多くの人を受け入れてきた庄司さんの家。(下)訪れた人との縁を大切に。手製のアルバムには思い出の写真がぎっしり。

新型コロナの影響で来村の予定がいくつも延期になっています。「早く安心して行き来ができるようになってほしいね」



庄司 開 さん
草 野

村を訪れる人の宿泊場所に自宅の部屋を提供し、交流をしているという庄司さん。そのユニークな取り組みは、県外の新聞にも取り上げられ、新たな問い合わせも来ているそうです。宿泊者は食材を持ち込み、食事の準備はそれぞれに。庄司さんは、採れたて野菜や果物を振る舞います。雨天時でもバーベキューができるよう、専用のスペースも設けました。

相馬大野台応急仮設住宅に避難し、視察に訪れる人やジャーナリストらに現状を伝えるうちに、深まっていた交流。多くの人が、帰村後も、庄司さんの家を訪ねて来るようになりました。アマチュア無線や海釣りなどの趣味でつながる仲間達も、やって来ます。建て直した家には、家族の部屋他に、来訪者が気軽に泊まれる部屋も整えました。「飯館の復興する姿を、皆に見てほしい」と庄司さん。「苦労して16人家族を支えた親父の時代から、村には世話になってきた。自分なりに恩を返したいんだよ」。

話題のパレット

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613

大き過ぎるアザミ！



菅野康雄さん、キミエさん(関根・松塚)の自宅の前庭に、巨大なアザミが現れました。なんと約3mの高さ。茎は太い所で大人の腕ほどもあり、つぼみも無数についています。康雄さんがこのアザミに気づいたのは6月頃のこと。最初から勢いがあり、どの程度まで育つか、夫婦で見守っていたそうです。

海外には大きく育つ食用のアザミもあるようですが、このアザミは突然自生したとのこと。ここまで育つとはびっくりです！

フラワーキャンドルづくり



村民のグループ「裁縫科」と「オープンガーデンいいたて」が共同で開催。15人が参加しました。

9月18日に開催された「フラワーキャンドルづくり」の講習会。講師は地域おこし協力隊でキャンドル作家の大槻美友さんです。素材にはアジサイやバラなど「オープンガーデンいいたて」の皆さんがまでに育てた花も並びました。大槻さんののていねいなアドバイスのもと、十人十色の素敵な作品が完成しました。

いつものように
会話ははずんで
楽しい講習に

「ほんの森 いいたて文庫」



ボランティアさんの手による展示。当時の「ほんの森いいたて」の温かな雰囲気を伝えます

交流センター「ふれ愛館」だより

「やさしさと活力あふれるクオリティライフいいたて」を目指して平成7年2月にオープンし、約16年間、村内外の皆様に親しまれた村の本屋さん「ほんの森いいたて」。平成23年の全村避難から、長い間、休店が続いていましたが、今年、残念ながら、閉店することとなりました。そこで、「ほんの森」に縁のある3人の図書ボランティアの方に協力をお願いし、交流センター「ふれ愛館」で、展示を行うことになりました。「ほんの森 いいたて文庫」として、本の貸し出しも行います。『読書の秋』です。ほんの森を想いながら、多くの皆様にご活用いただければ幸いです。

問 交流センター「ふれ愛館」
☎ 0244-42-0072

本の貸出時間
平日：午前8時30分から午後5時

手作り石けん教室

エッセンシャル
オイルの香りも
楽しみながら...



9月20日、旧白石小学校に事務所を置く「地域創造研究所」の集会室で「手作り石けん教室」が開かれました。講師はAtelier Mazette(あとリエ・まぜて)の菊野里絵さん。参加者は、「化学の勉強なんて何十年ぶり?」と言いながら材料をまぜまぜ。化学反応を楽しみながら、それぞれの石けんを手作りました。

11月8日(日)、1月17日(日)、3月21日(日)も開催予定。材料費込2,000円。要予約です。

詳細の問い合わせと予約は下記まで
☎ 090-6456-0307
✉ riico@live.jp
(担当は菊野さん)

←トマトのせっけん

←キュウリのせっけん